



第7回 久留米大学 ダイバーシティ・インクルージョン(DI)Day

戦略的広報活動プロジェクト 木村 美緒

第1部では、臨床研修センター 内野教授、皮膚科学講座 古賀教授を座長にお迎えし、ライブイベントと研究活動両立支援金制度採択者4名による活動報告が行われました。同様の状況下にある研究者や若いスタッフにとって大きな励みになったことと思います。

優秀発表者として表彰される西木戸文医師

第2部での株式会社タカギ 松田理恵氏によるご講演は、社員一人ひとりに働きかけ個人の意識を変える活動が組織文化の変革に繋がるボトムアップ型DE&I推進の実例として非常に貴重で興味深い内容でした。



松田 理恵氏



屋比久 真衣氏



西木戸 文氏



中村 悠氏



森 慎一郎氏

ACADEMIC ALLIANCE

女性研究者支援シンポジウムを開催

戦略的広報活動プロジェクト 添田 美保

2025年9月25日、久留米大学旭町キャンパスにて「第16回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム」が開催されました。女性研究者支援と働きやすい環境づくりを目的に、「未来を拓く 女性研究者×大学×地域社会」をテーマとして実施されました。基調講演では大森昭生氏が登壇し、地方創生における高等教育と男女共同参画の重要性を紹介しました。パネルディスカッションでは、女性研究者のキャリア形成や地域連携について活発な意見交換が行われました。

ホームページQRコード▶



NEXT GENERATION

『メディカルクロストーク～医学生×医師』開催報告

次世代育成プロジェクト 満尾 美穂

2025年10月21日、臨床実習前の医学科4年生を対象に「メディカルクロストーク～医学生×医師～」を開催しました。第一部では福岡県医師会理事の田中真紀先生に医師会について、泌尿器科 植田裕明先生、小児科 大津生利衣先生より、医師のキャリアプランについてご講演いただきました。第二部では小グループに分かれてテーマ別のケースディスカッションを行いました。「キャリア形成」「多職種連携」など多様なテーマについて、少人数での対話を通じ学生が自身の考えを言語化し他者の意見に触れ理解を深める姿が見られました。



PRIDE HEALTH

LGBTQ+支援

マイノリティ支援プロジェクト 松岡 美智子

久留米大学LGBTQ+*支援ワーキンググループは、誰もが受診しやすい病院を目指して活動しています。「ALLY(アライ)」とは、英語で支援や支援者を意味し、LGBTQ+への理解と支援の意思をもって行動する人のことです。ワーキングのメンバーもALLYとなれるように、そして少しづつ職員の中にも支援者を増やしていくように研修活動を計画中です。トイレの表示の変更や相談窓口カードの設置など整備を進めています。

ぜひ病院内で探してみてください。
※LGBTQ+とは、多様な性の在り方や性的指向を表す言葉の総称です。



INFORMATION

令和8年度 ライフイベントと研究活動両立支援金制度

本制度は子育てや介護などのライフイベントと研究活動を両立する学内研究者の支援制度です。研究者の性別や年齢・研究分野は問いません。詳細はHPに掲載予定ですので、ぜひそちらをご覧ください。

働きやすい職場づくりアンケート

令和7年11月に久留米大学の全教職員を対象に実施しました「働きやすい職場づくりアンケート」には、2,000人を越えるご回答をいただきました。皆様のご協力に深く感謝を申し上げます。結果は今後のDI NEWSやHPなどを通してご報告いたします。

研究センター化

DI推進室は、本年4月より“DE&I推進研究センター”へ改組されます。これまでの啓発活動に加えて、DE&I推進のエビデンスを研究する組織へ変わります。

石竹室長のご退任

室長の石竹達也医師(副学長・環境医学講座教授)が令和8年3月31日付でご退職されます。石竹先生、ありがとうございました！

石竹室長からのメッセージ

DI推進に携わり、多様性が本学の力になると実感しました。“違いを力に” 明るい未来を共に創ることを願っています。



活動にご興味がある方はお気軽にご連絡ください！

ダイバーシティ・インクルージョン(DI)推進室
〒830-0011 福岡県久留米市旭町67
[久留米大学内]

TEL.0942-65-4719(内線3179)
✉ d_inclusion@kurume-u.ac.jp
https://d-inclusion.kurume-univ.jp/



DI推進室の
インスタグラム

